



## 【コラム】エネルギーの地産地消と地域防災対策のため、平成 28 年度に民間事業者とエネルギー地産地消モデルの構築について協定締結

■松田町では、エネルギーの地産地消と地域防災対策を推進するため、平成 28（2016）年に、ほうとくエネルギー株式会社、湘南電力株式会社、株式会社エナリスの 3 社と「エネルギー地産地消モデルの構築に関する協定書」を締結しました。

■これにより、9か所の公共施設の電力契約を、神奈川県内で発電された電気が優先的に供給される契約に切り替えました。

2024 年度電源構成計画 ※内訳は変動有

種別	内訳
県内の FIT 電気（太陽光）	19.0%
県内の FIT 電気（水力）	0.9%
卸電力取引所 （水力、火力、原子力、FIT 電気、再生可能エネルギー含む）	0.4%
その他（発電所が特定できないもの）	79.7%

■また、停電時には施設の自立電源として活用し地域の防災に役立てるため、町健康福祉センターと寄小中学校に太陽光発電設備（10kW）と蓄電池（10kWh）を導入しました。



### 【電気契約の対象施設】

- ・松田町役場
- ・生涯学習センター
- ・健康福祉センター
- ・松田小学校
- ・松田中学校
- ・寄小中学校
- ・旧寄中学校
- ・松田中学校屋内運動場
- ・西平畑公園

※FIT 電気は、「再生可能エネルギー」という環境価値を持たないため、その二酸化炭素排出係数は、火力発電等を用いて作られる平均的な電気と同じとして取り扱われます。